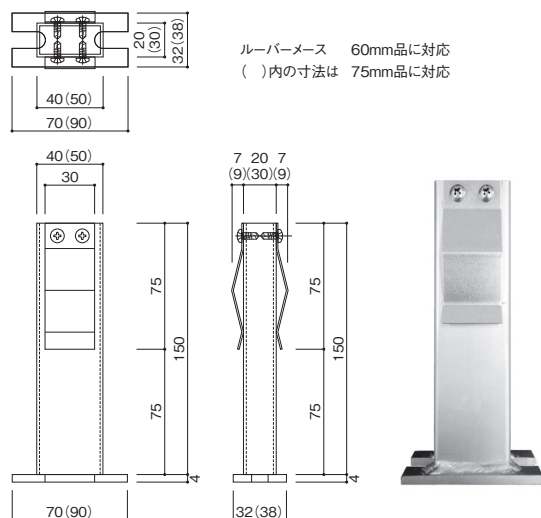
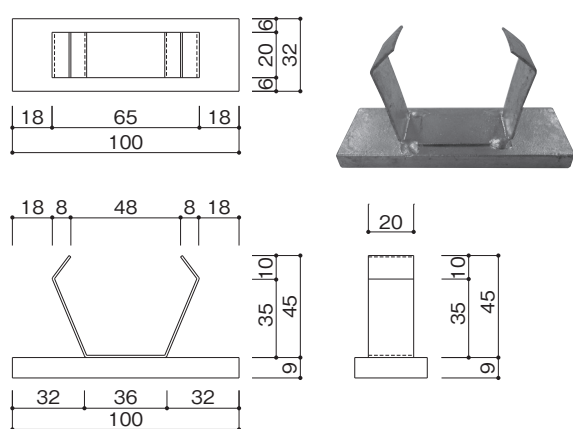


◆ 特長

- ルーバーは建物の表情を効果的に演出するだけでなく日射を調整することにより、空調や照明などの省エネルギーにもきわめて有効です。
- メースならではの重厚感と軽快感を併せもった、スマートな仕上がりを実現できます。
- 断面にバランス良く鉄線を挿入した専用パネルと、設計耐力2000NのLVクリップの併用工法で、高い安全性を確保しています。

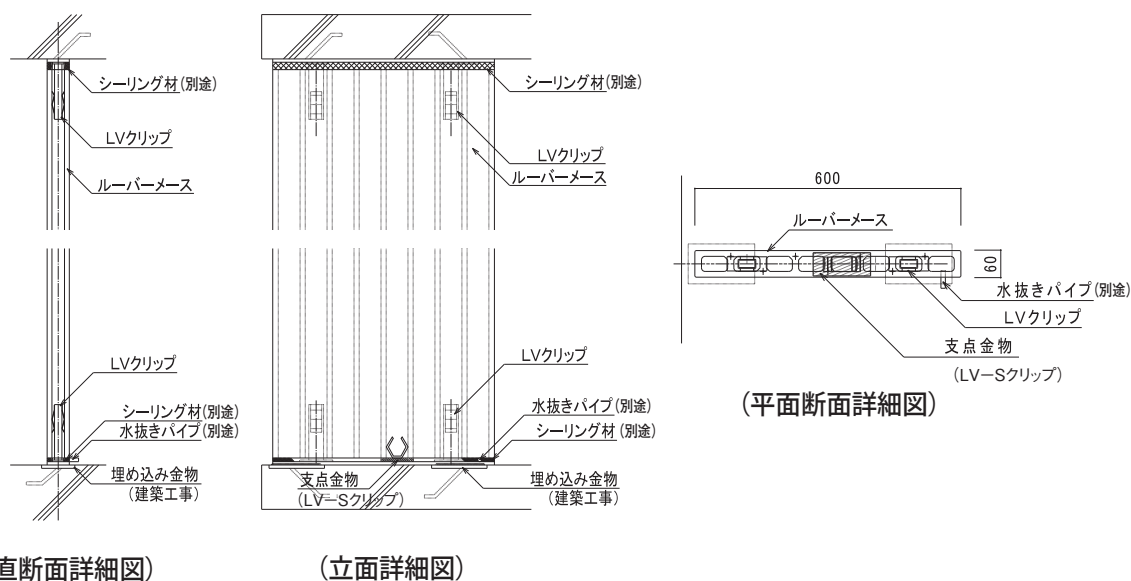
◆ 専用金物

〔LVクリップ（取付金物）〕 溶融亜鉛メッキ JIS H 8641 HDZ 35	〔LV-Sクリップ（支点金物）〕 溶融亜鉛メッキ JIS H 8641 HDZ 35
 ルーバーメース 60mm品に対応 ()内の寸法は 75mm品に対応	

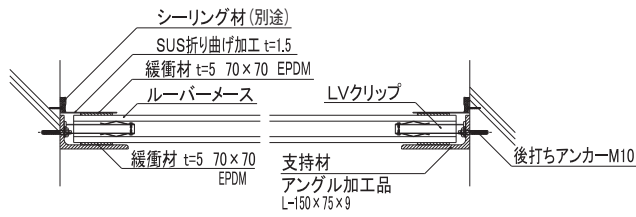
※取付金物の支持部材は、溶融亜鉛メッキ（JIS H8641 HDZ 35）以上の耐候性を有する鋼材を用いて下さい。

◆ 参考詳細図

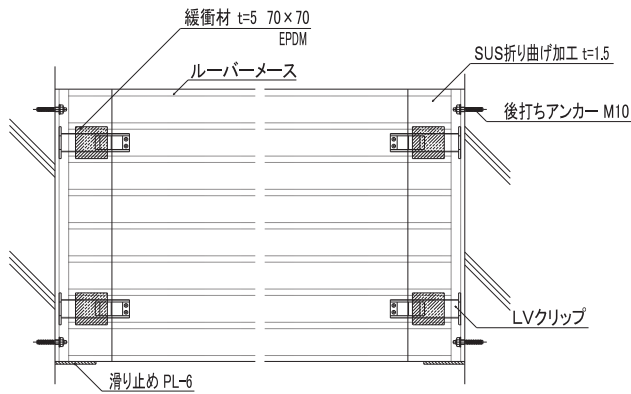
〔垂直ルーバー〕



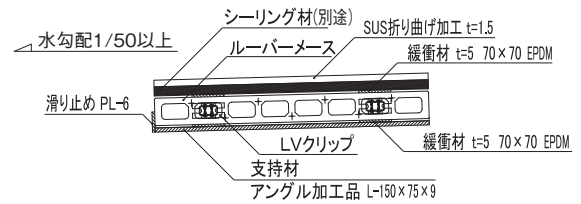
〔水平ルーバー〕



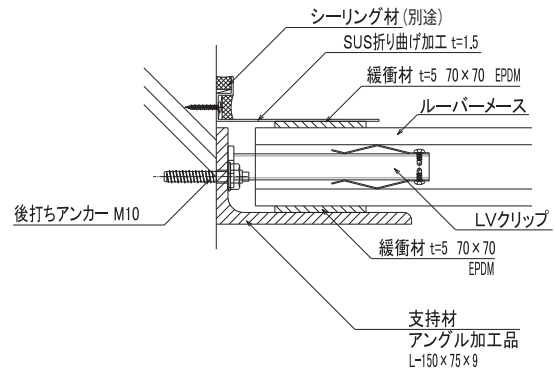
(断面詳細図)



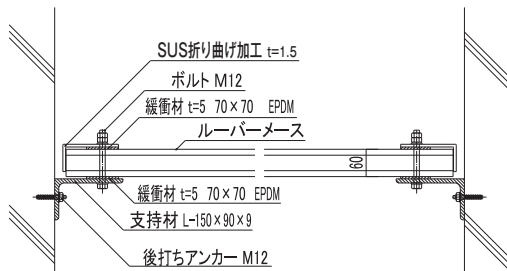
(平面詳細図)



(断面詳細図)



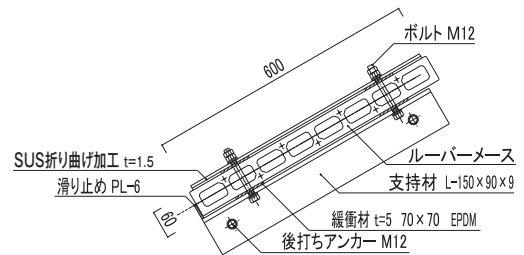
(断面詳細図)



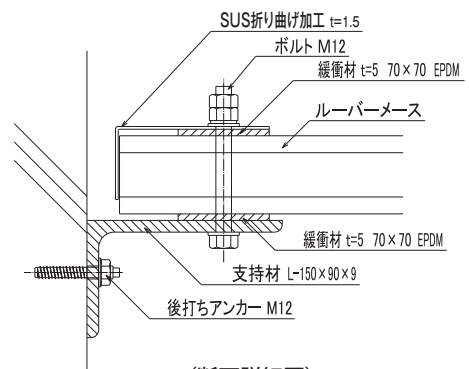
(断面詳細図)



(平面詳細図)



(断面詳細図)



(断面詳細図)

◆ 留意事項 注意

〔垂直・水平ルーバー共通〕

- ① ルーバーメースは専用品を使用し、パネル両端より2穴目にセットして下さい。
- ② ルーバーメースは、推奨金物を使用して取り付けてください。
- ③ ルーバーメースは、塗装仕上げを原則とします。クリアー塗装は、エフロレシンスを強調するので避けてください。
- ④ ルーバーメースの支持は単純支持としてください（3点支持はしないでください）。
- ⑤ ルーバーメースの取付け用支持材（埋め込み金物含）及び留め付け金物（ボルトナット含）は、溶融亜鉛めっき又は溶融亜鉛めっきと同等以上の性能を有する防錆仕様とします。
- ⑥ ルーバーメースに手すり等の部材を取り付けしないでください。
- ⑦ ルーバーメースは、躯体・強度のある部位に取り付けてください。
- ⑧ ボルト留め付けの場合、穴あけ位置は小口端部から80mm以上としてください。
- ⑨ ルーバーメースの二次的安全対策として、中空部にワイヤーロープを設置する方法もあります。

〔垂直ルーバー〕

- ① ルーバーメースを検討する設計荷重は、風圧力・地震力・自重を考慮してください。
- ② ルーバーメースの切欠きは、工事により不具合を生じる場合がありますので、さけてください。
- ③ ルーバーメースの支持材は、パネルを全幅で受け、その自重を支持してください。
- ④ ルーバーメース及び支持材は水平に受けるようにしてください。
- ⑤ ルーバーパネルの上下小口にシーリング材を施し、下部には水抜きパイプを設置してください。
- ⑥ ルーバーメース留め付け金物は、バランスよく上下各2か所計4か所で留め付けてください。計算上留め付け強度が不足する場合は、留め付け金物の数を増やしてください。

〔水平ルーバー〕

- ① ルーバーメースを検討する設計荷重は、風圧力・地震力・自重及び積雪荷重を考慮してください。
- ② ルーバーメースの使用長さは、2,500mm以下としてください。
- ③ ルーバーメースの自重を負担する支持材の上下及び留め付け部分には、緩衝材を挟み込んでください。
- ④ 緩衝材は、耐候性・耐熱性のあるもの（CRゴム・EPDMゴム）を使用してください。
- ⑤ ルーバーメースの欠き込みはしないでください。
- ⑥ ルーバーメースに水が溜まらない様、水勾配（1/50以上）をとってください。
- ⑦ ルーバーメースを取り付ける左右対称の下地材は、水平精度を確保し取り付けてください。パネル全幅をこの下地材で受けるようにしてください。
- ⑧ ボルト留めの場合、締め付けトルク値を5N・m～10N・mで管理し、上側でダブルナットとしてください。ナットの締め付けは確実にを行い、インパクトレンチは禁止とします。
- ⑨ 下地材よりルーバーメースをはね出す場合の寸法は、パネルの厚さの半分以下としてください。
- ⑩ 留め付け金物による懸垂（吊り下げる）仕様は禁止です。
- ⑪ ルーバーメースの小口より水が入らないようにシーリングを施すか、水切りカバー等を設けてください。
- ⑫ ルーバーメース留め付け金物は、バランスよく左右各2か所づつ計4か所としてください。
- ⑬ ルーバーメースには乗らないでください。また、物を載せないでください。
- ⑭ 短期設計曲げ応力度は、 5.3N/mm^2 としてください。

※その他、詳細については最寄りの支店・営業所にお問い合わせください。